

花粉症治療後に全身のかゆみ・浸出と顔面腫脹を生じた高齢者アトピーの経過 (66 歳)

症例 ID : 001-60-YY | 記録日 : 2017 年 10 月 14 日

1. 診断・治療前経過

強い花粉症に対して耳鼻科で内服薬を使用していました。別の医師からステロイドであると説明され、徐々に減量して中止しました。

その後、立ち上がりにくさや歩行の変化が出たため、娘さんとともに松本医院を受診されました。治療開始約 2 か月後から顔面腫脹と全身の皮膚症状が強くなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	花粉症の治療でステロイド内服薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	徐々に減量して中止しました。
来院前／後	来院前に内服歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
来院前	内服治療	花粉症に対してステロイド内服薬を使用し、徐々に中止しました。
中止後	身体症状	立ち上がりにくさと歩行の変化が出ました。
松本医院受診	治療開始	娘とともに受診しました。
開始約 2 か月	急性悪化	顔が大きく腫れ、手の赤みとかゆみ、全身のかゆみが出ました。
その後	症状の拡大	手首と耳から浸出液が出て、発熱、首の発疹、喘息、めまいもみられました。
長期経過	皮膚の変化	かゆみや喘息、めまいは残りましたが、顔と皮膚の状態は強い時期より軽くなりました。

4. ピーク時期

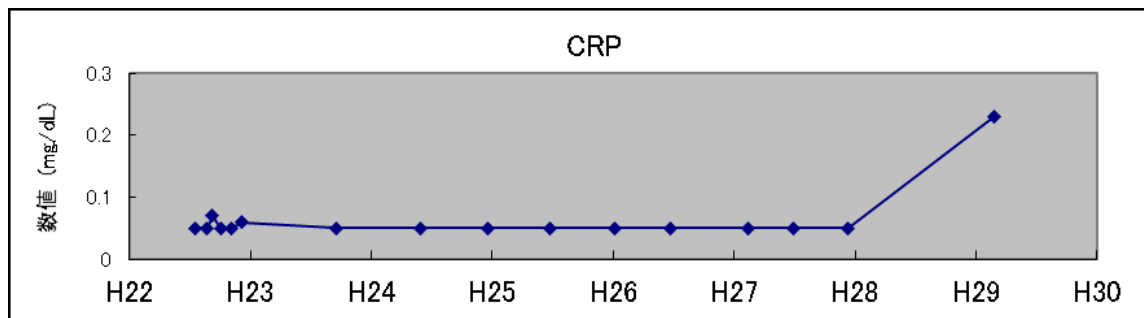
ピークは、顔面が著しく腫れ、手首と耳から浸出液が出て、全身のかゆみと発熱が重なり、仕事を 2 か月休んだ時期です。IgE は最高 20,000 IU/mL まで上昇しました。

5. 困りごと

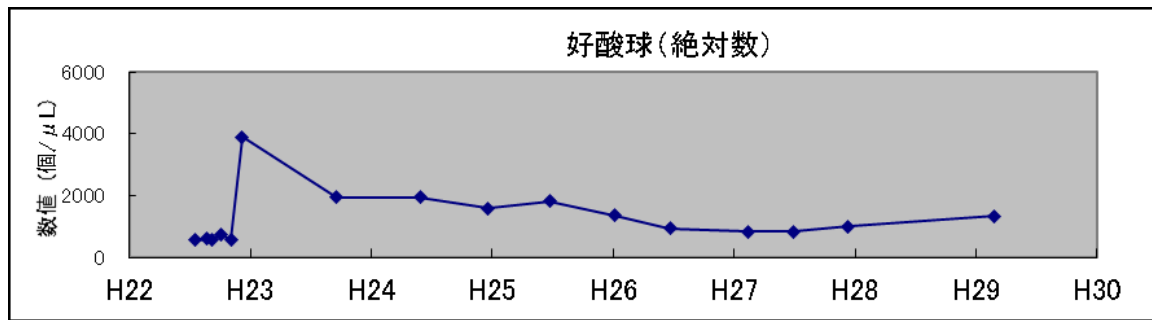
- ・顔面の著しい腫れと全身のかゆみが出ました。
- ・手首や耳から浸出液が続きました。
- ・発熱、喘息、めまいを伴い、仕事を 2 か月休みました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中の記録として掲載しています。

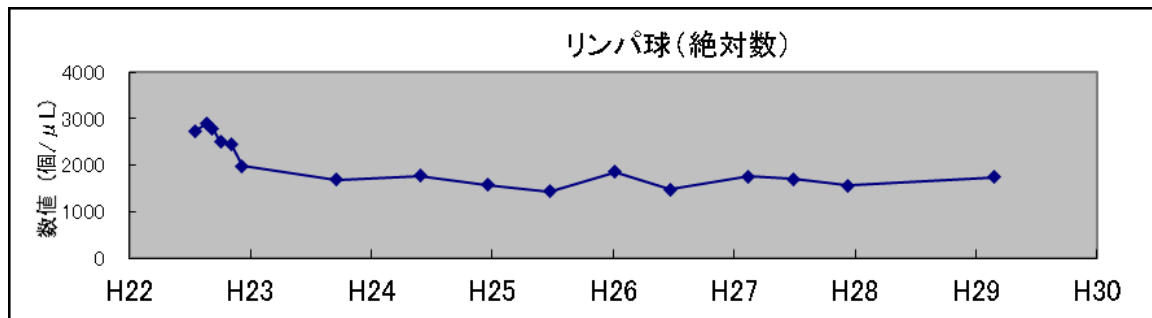
(1) 検査値グラフ



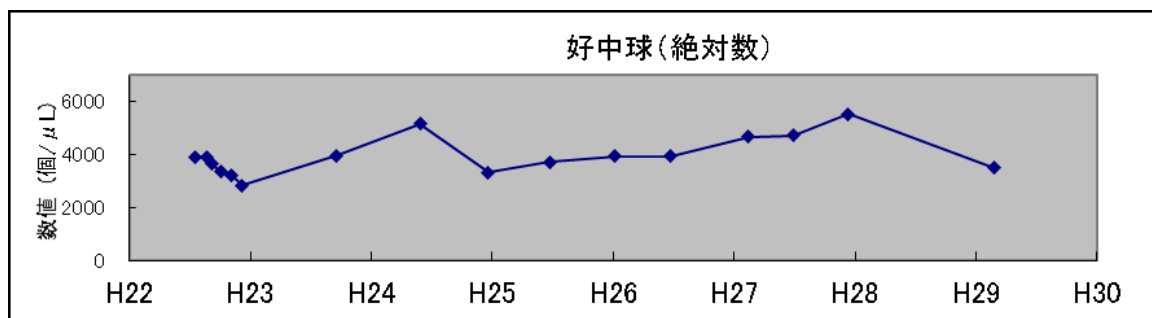
経過中の検査値の推移。



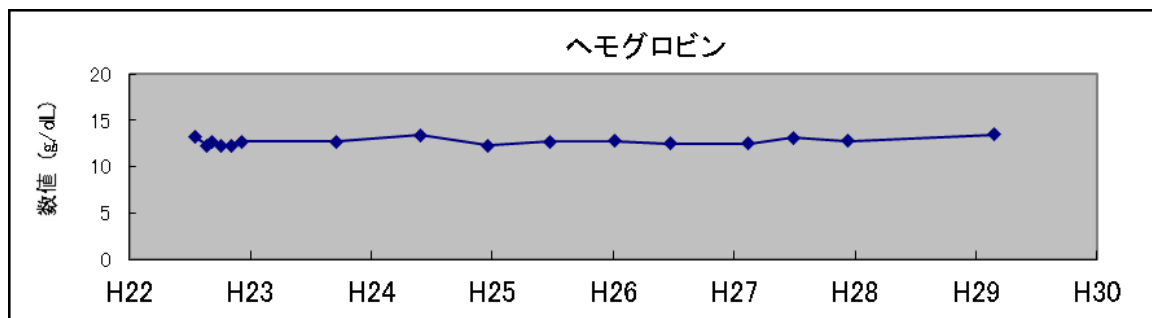
経過中の検査値の推移。



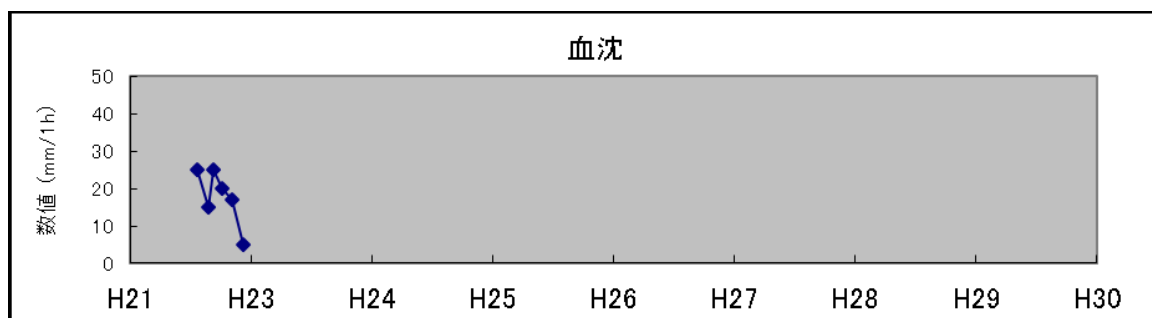
経過中の検査値の推移。



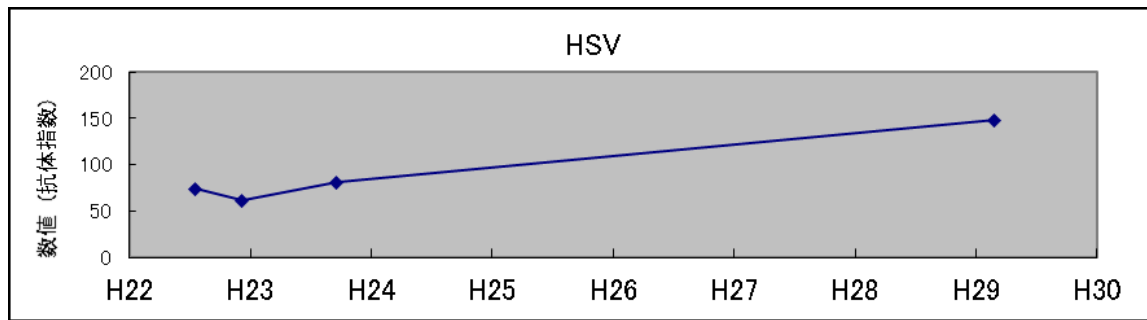
経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。

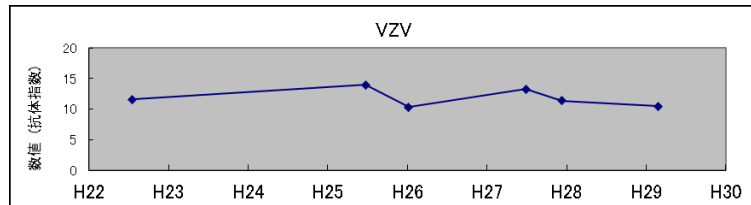


経過中の検査値の推移。

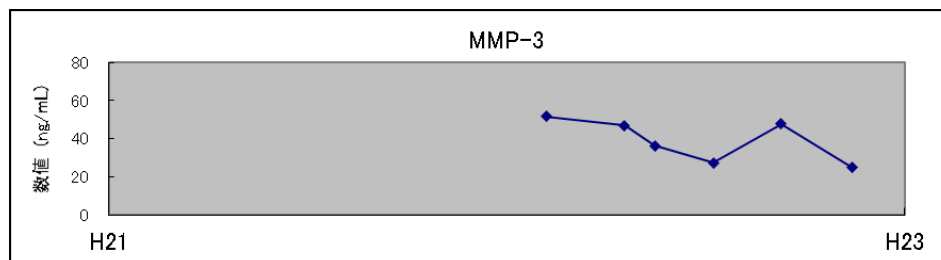


経過中の検査値の推移。

(2) 経過中の皮膚画像



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。

7. 経過のまとめ

顔面の著しい腫れと全身の浸出により2か月休職する時期を経ました。IgEは最高20,000 IU/mLとなり、2017年時点では9,000～7,100 IU/mL程度まで低下していました。かゆみ、喘息、めまいは残っていましたが、顔と皮膚の状態は強かった時期より軽くなっていました。通院の中で症状に前向きな変化がみられた症例です。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。